

都市再生整備計画 事後評価シート
矢代田駅周辺地区

平成23年3月

新潟県新潟市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	新潟県		市町村名	新潟市		地区名	矢代田駅周辺地区			面積	710 ha	
交付期間	H18～22年度		事後評価実施時期	H22年度		交付対象事業費	3,136百万円	国費率	0.4			
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 道路：市道1-64号線、市道1-121号線、市道1-159号線、市道1-269号線、市道鎌倉横川1号線、市道小須戸3号線、市道小須戸新保2号線、(都)新保矢代田2号線 公園：舟戸公園 地域生活基盤施設：パークアンドライド・駐輪場、(都)矢代田停車場線(東口広場)、(都)新保矢代田2号線(西口広場) 高質空間形成施設：エレベーター2基設置(東西自由通路)、(都)矢代田駅東西自由通路									
		提案事業	地域創造支援事業：矢代田駅の橋上化 まちづくり活動推進事業：公共交通に係る利用意向調査									
	当初計画から削除した事業	基幹事業	道路：市道潟端線、市道中央1号線		削除/追加の理由 潟端線：道路に面した学校整備にあわせ別事業で整備したため削除 中央1号線：事業項目見直しに伴う当該項目からの削除			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響 駅までの所要時間及び駅利用者の指標に影響するが、指標、数値目標は据え置く				
		提案事業	まちづくり活動推進事業：地場産推進検討事業		当区役所産業振興課が、H19年度に別事業で実施済みのため削除			駅利用者の指標に影響するが、指標、数値目標は据え置く				
	新たに追加した事業	基幹事業	高質空間形成施設：市道中央1号線、東口駅前広場		事業項目の見直しに伴う追加及び当該項目への利用者の利便性、快適性を高めるため追加			駅までの所要時間及び駅利用者の指標に影響するが、指標、数値目標は据え置く				
		提案事業	事業活用調査：事業効果分析調査		事業効果の把握、分析を行うために追加			影響なし。				
交付期間の変更	当初	平成18年度～平成22年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			-					
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	指標1	地域内の定住人口の減少抑制	人	10,439	H16	10,020	H22	10,019	△	あり なし ●	自由通路、公園等駅周辺の整備により、地域の魅力が向上し、定住人口の減少抑制が図られた。	平成23年4月
	指標2	駅までの所要時間(車)の短縮	分	15	H17	10	H22	6	○	あり なし	矢代田駅を中心とした交通結節点としての強化、及び、道路の整備による交通アクセスの向上により、小須戸商工会議所から矢代田駅への所要時間(車)が短縮した。	
	指標3	駅利用者の減少抑制	人/日	1,978	H16	1,898	H22	1,946	○	あり なし	道路の整備による交通アクセスの向上、及び、駅橋上化、東西通路整備、駅前広場整備による利便性の向上により、駅利用者の減少が抑制された。	平成23年7月
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標1	駅周辺環境の満足度	%	-	H			77			自由通路、公園等駅周辺の整備による居住環境の向上、道路網の整備による駅への交通アクセスの向上により、地域住民の多くが満足した。	
	その他の数値指標2	-			H							
	その他の数値指標3	-			H							
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・H22年度に実施した地域住民へのアンケート調査の自由意見には、駅西口の整備を評価する意見が多数あった。特に利便性が高くなった事項として、自由通路による東西の行き来、バリアフリー化、駅前整備による自動車のアクセス等が評価されている。また、新しい駅周辺整備により明るい印象になったという意見が多数寄せられた。 ・駅橋上化、自由通路や東西駅前広場の整備、公園整備等が進められ、同時に市立保育園が整備されたことで、利便性・快適性が相乗的に向上した。 ・当該地域山の手コミュニティ協議会が、新たな駅整備にあわせて地元中学校と連携し、花壇の整備等の地域活動を開始した。 											
5)実施過程の評価	モニタリング		なし	実施内容			実施状況			今後の対応方針等		
	住民参加プロセス		なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					
	持続的なまちづくり体制の構築		地域コミュニティ協議会による中学生を中心とした駅周辺環境整備				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					

様式2-2 地区の概要

矢代田駅周辺地区(新潟県新潟市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
駅・駅前広場・道路網の整備による交通アクセスの向上により、利便性、快適性を図り、公共交通の利用を促進し豊かな自然環境をいかした、まちづくりを目指す。 小目標① 道路整備による交通アクセスを快適にし利便性向上を図る。 小目標② 駅利用と居住環境を整備し回遊性を創出し交流人口の増加を促進する。 小目標③ 駅橋上化と東西自由通路及び駅前広場を整備し東西分断を解消し地域の発展を図る。	地域内の定住人口の減少抑制	単位：人	10,439 H16	10,020 H22	10,019 H22
	駅までの所要時間(車)の短縮	単位：分	15 H17	10 H22	6 H22
	駅利用者の減少抑制	単位：人/日	1,978 H16	1,898 H22	1,946 H22
	駅周辺環境の満足度	単位：%	—	—	77 H22
		単位：		H	H



まちの課題の変化
 駅前広場や駅舎橋上化、東西自由通路の整備、駅へのアクセス道路の整備等により、駅の拠点性、利便性の向上が図られた。また、駅前広場や公園整備等により駅周辺での賑わい創出や地域コミュニティ醸成のための場づくりが図られた。今後は、更なる矢代田駅周辺エリアにおける地域住民が集う拠点としての強化や、賑わい創出や地域コミュニティ活動へとつながる仕掛けづくり、自転車利用の促進等が必要。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)
 ・良好な駅周辺環境についての情報発信により、民間事業者による住宅供給や商業施設の誘致に努め、また、イベント開催等による市民交流による定住化を促進する。
 ・地域住民との協働による船戸公園及び駅周辺の維持管理を実施する。
 ・サイクリングロード整備を踏まえ、今後はPR活動等による自転車利用を促進する。